

II 川越親愛センター(令和4年度事業報告)

1. 令和4年度事業報告概要

障害者総合支援法に規定する障害者支援施設として、基準を満たす加算申請を行い安定した収入を目指した。

また、新型コロナウイルス感染対策を継続しつつ、利用者が充実した生活が送れるように日中活動のメニューを工夫し、余暇活動においては窮屈な生活とならないように小集団で近隣の外出を行なった。行事では職員がアイデアを出しあいキッチンカーやパフォーマーを呼び楽しんだ。

利用者支援では、会議や定期的な振り返りを実施し意思を尊重した意思決定ができていないか確認し 個別支援計画に基づく質の高い支援の提供に努めた。

人材育成については、キャリアパスに応じた研修を多く取り入れ、グループ研修では職員の得意分野を活かした研修を行ない、職員の知識、スキルの向上を図った。

- (1) 施設入所支援事業 主に夜間や休日において、生活の場にふさわしい日常生活支援サービスを提供した。
- (2) 生活介護事業 障がい特性や利用者本人の意向をもとに、健康維持や生きがい支援につながる日中活動支援を提供した。
- (3) 短期入所事業・日中一時支援事業
在宅の利用者を対象に、家族が安心してサービスを受けられるよう支援を提供した。
- (4) あんしんネット親愛 生活困窮者への迅速な支援を実施した。

2. 令和4年度取り組み

(1)利用者支援

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
ア 個別支援計画に基づく支援 (ア) 一人ひとりの思いや価値観を大切に、個人や少数単位での支援を行う。 (イ) 意思を尊重した意思決定ができていないか、会議で確認する。 (ウ) 利用者が安心して生活が送れるように、環境整備を行う。	(ア) 個別支援計画に基づき、軽作業や余暇活動の提供など、個々のニーズに合わせた日中活動の機会を提供した。 (イ) 個別支援計画のモニタリングの際に、サービス管理責任者・支援主任・相談員も交えて意思の尊重が図れているか、定期的に見直しを行った。 (ウ) 老朽化している住環境の修繕を随時行った。

<p>イ 日中活動</p> <p>(ア) 感染防止対策を継続しつつ、日々の生活が単調にならないように軽作業や余暇支援を提供する。</p> <p>(イ) 余暇支援では四季が感じられる行事の企画や、日常生活では楽しんで身体を動かす機会を提供する。</p> <p>(ウ) 作業班や余暇支援で作り上げた作品の発表の場を設ける。</p>	<p>(ア) 今年度も入所部と通所部で活動スペースを分けて、個々のニーズに合わせた軽作業や余暇活動を提供した。</p> <p>(イ) 施設内の行事では、創作作品の発表や展示、移動販売等を企画した。</p> <p>(ウ) 施設内行事や支援説明会で作品の展示を行った。ご家族向け広報誌を作成し、ご家族に年4回郵送した。</p>
<p>ウ 支援の情報共有と改善</p> <p>(ア) 利用者の変化に応じて随時会議を開催し、情報の共有をはかり、支援の見直しや改善に取り組む。</p> <p>(イ) 質の高い支援が行える様に、記録システムの運用を検討する。</p>	<p>(ア) 新たに今年度より個別支援会議を行い、利用者の意思を尊重できているか、しんあい相談支援センターとも連携しながら毎月検討を行った。</p> <p>(イ) 記録システムの活用で、情報を正確に共有出来るようになった。次年度は質の高い支援が行える様に、検討したい。</p>
<p>エ 虐待防止・権利擁護</p> <p>(ア) 虐待防止・権利擁護に関する研修の受講、内部研修を実施し、職員一人ひとりの意識の向上を図るとともに、支援の質を高める。</p> <p>(イ) 新規採用時に虐待防止・身体拘束等の適正化の研修を実施する。</p>	<p>(ア) 全職員を対象に、新任と中堅の階層に分けた研修会を実施した。2月の会議で、常勤職員を対象に、丁寧な支援が提供できているか振り返る機会を設けた。</p> <p>(イ) 非常勤職員の採用時に動画視聴にて研修を実施した。</p>

(2) 人材育成

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>ア 外部研修</p> <p>キャリアパス制度に則し、必要な業務教育の一環として職務に必要な研修を受講する</p>	<p>WEB形式ではあったが、常勤職員がキャリアに応じた研修に1回以上参加した。また、動画配信型の研修は複数で受講できるように設定した。</p> <p>新任職員3名が強度行動障害基礎研修、中堅職員2名が強度行動障害実践研修を受講した。</p>
<p>イ 内部研修</p> <p>(ア) グループ研修会を実施し、障がい特性や高齢化に伴う介護技術のスキルを高める。</p> <p>(イ) 新任職員については、主任を中心にOJT担当を配置し、計画的・意図的に教育を行う。</p>	<p>(ア) 9月に介護の実務経験者(介護福祉士有資格職員)による、オムツや移乗などの介護実技研修会を実施した。</p> <p>(イ) 施設内のOJT資料の更新を行った。計画にそって3名の新任職員に教育を行った。</p>

(3) 施設設備管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
ア 老朽化にともなう修理整備	老朽化に伴い、不具合が発生した設備の修理、整備を実施した。 a 厨房 冷蔵庫 軟水器 温蔵庫 b ゴミ専用物置 c 喫煙所 d 小型 乾燥機 e 男子棟廊下 作業棟 エアコン修理 f 相談棟外階段滑り止め修理

(4) 危機管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
ア 防災・防火訓練 (ア) 避難訓練を実施し、うち1回は夜間想定訓練とする。 (イ) 応急救護講習、水消火器訓練の実施。 (ウ) 防災計画の更新。	(ア)年3回の避難訓練を実施した。 (イ)9/27にAEDを使用した応急救護講習を実施したが、水消火器訓練は消防署との調整がつかず実施出来なかった。 (ウ)計画の更新は行ったが、想定訓練は実施できなかった。
イ 業務継続計画(BCP)の策定 令和3年度報酬改定に伴い、感染症や災害時の業務継続計画(BCP)の策定が義務化(令和5年度末まで)されたため、策定準備を進める。	法人分科会のメンバー中心に感染症対応の業務継続計画(BCP)を策定した。
ウ 安全運転管理 (ア) 経年劣化が著しい車両を計画的に入替える(原則、リース)。 (イ) 車両点検、運行表の記入、安全運転を励行する。 (ウ) 事業所内での運転者の酒気帯びの有無の確認を徹底する。(道交法改正に伴う)	(ア)福祉車両を含む2台の車輛をリースに切り替えた。 (イ)安全運転管理者を中心に車両管理と、安全運転の励行を行った。 (ウ)4月よりアルコール検査器を使用しての呼気検査を実施した。

(5)その他

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>ア あんしんネット親愛事業</p> <p>(ア) 寄り添い方連繋支援を実施する。</p> <p>(イ) 各種機関との連携・情報交換を行う。</p>	<p>(ア) 川越市自立相談支援センター及び川越市生活福祉課と連携し支援を行い 1 件の現物給付を行った。(支援回数 1 回、光熱水費 ¥17,726)</p> <p>(イ) 川越市内の担当相談員や社会福協議会の関係者が参加したブロック会議に参加し情報交換を行った。</p>
<p>イ 地域社会との共生</p> <p>(ア) 地域貢献を念頭に地域との連携を図ることで福祉拠点としての役割を果たす。</p> <p>(イ) 実習生、ボランティアを受け入れ、障がい者の理解を深めてもらい、後進の育成に努める。</p>	<p>(ア) 新型コロナウイルス感染症により自治会等の地域活動の参加は自粛した。</p> <p>(イ) 昨年度と同様に、十分な感染対策を講じ受け入れを行った。ボランティアの受け入れはコロナ禍の為、さいたま保護観察所から依頼のある社会貢献活動のみの受け入れとなった。</p>
<p>ウ 情報発信</p> <p>ホームページへの情報掲載、事業報告等の開示、事業所見学者の受け入れを行う。</p>	<p>余暇支援・行事等の様子をホームページへ掲載した。</p>

■ 川越親愛センター（令和4年度事業報告 資料）

令和5年3月31日現在

1 利用者状況

(1) 障害支援区分(名)

支援区分	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
区分6	22	11	33	9	6	15
区分5	2	4	6	4	3	7
区分4	0	0	0	2	1	3
区分3	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0
区分1	0	0	0	0	0	0
合計	24	15	39	15	10	25

(2) 年齢構成(名)

区分 種別	性別	20歳未満	20歳以上～30歳未満	30歳以上～40歳未満	40歳以上～50歳未満	50歳以上～60歳未満	60歳以上	平均(歳)
		(入所)	男	0	1	0	7	6
女	0		0	2	7	4	4	51.8
計	0		1	2	14	10	13	52.3
(通所)	男	0	4	4	3	1	3	39.8
	女	0	2	0	3	2	3	54.3
	計	0	6	4	6	3	6	45.0

(3) 通院・入院状況 (回)

区分	科目	精神科	内科	外科	眼科	耳鼻科	皮膚科	整形外科	婦人科	歯科	その他	計
	入所		4	80	10	4	0	5	25	7	125	16
通所		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
入院	件	0	2	3	2	0	0	1	0	1	1	10
	日	0	45	58	14	0	0	63	0	3	102	285

本人行かず、職員のみでの通院は含まず

2 事業所状況

(1)各事業の実施状況

事業名	定員(名)	平均利用人数(名)	利用率(%)
施設入所支援	40	36.4	91.1
生活介護	65	55.5	92.6
短期入所	3	0.9	30
日中一時支援	なし	1.6	

(2)ボランティアの受け入れ状況

受け入れ	延べ人数(名)	受入事業	延べ人数(名)
余暇・趣味	0	その他(理美容・施設体験ボラ)	27
行事活動(外出引率等)	0		
環境整備(掃除等)	6	合 計	33

※環境整備はさいたま保護観察所より依頼の社会貢献活動の受け入れ

(3)実習生・研修生の受け入れ

区分	実習校等(か所)	人数(名)	延べ日数(日)
実習生	12	14	164